

事業名	身体障害者総合援護費	財務コード (事業)	080509
-----	------------	---------------	--------

細事業名	身体障害者地域活動育成費
------	--------------

担当部課室	福祉保健 部 障害福祉 課 地域生活支援 担当 (内線)	3219
-------	------------------------------	------

I 事業の概要

実施期間	始期 S50 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	県(委託)		
事業の目的	誰(何)を対象に 在宅身体障害者	その対象をどのような状態にして 球技大会や文化祭を通じて、体力づくりや仲間づくりをすることができる。	結果、何に結びつけるのか 社会参加の促進
	事業の内容 ※主に23年度 在宅障害者を対象としたスポーツ大会や文化祭の開催事業の委託 ・委託先:(福)県障害者福祉協会 ・委託事業: グランドゴルフ大会:290名 実施主体:一般社団法人山梨県身体障害者連合福祉会 文化祭:80名 (社)県視覚障害者福祉協会 スポーツ大会:23名 (社)県聴覚障害者福祉協会 講習会:445名 (社)県視覚障害者福祉協会 ※文化祭:文芸、語り・朗読等 スポーツ大会:ボーリング、ソフトボール、ゲートボール、バレーボール、グランドゴルフ等 講習会:一般教養、IT、福祉制度等		
根拠法令等			

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

事業の実施状況と目標の実現度	22年度		23年度		24年度	25年度	事業目標の考え方
	実績値	目標値	実績値	見込値	目標値		
活動指標	参加者数	734名	948名	838名	840名	840名	目標設定の考え方 過去3年間の実績を基に設定 H21:グランドゴルフ296名、文化祭93名、スポーツ大会28名、講習会:446人 データの出典等
	活動指標達成率 (実績値/目標値)			88.4 %			過去の実績値
成果指標	成果指標達成率 (実績値/目標値)			%			目標設定の考え方 データの出典等
	決算額、予算額 (千円) うち一財額	611	611	611	611	611	成果指標によらない成果
所要時間(直接分)	16 時間	16 時間	16 時間	16 時間	16 時間	各障害者団体がニーズに合った事業を行っており、参加者からは「仲間ができた」「また来年も参加したい」等の声が上がっており、社会参加の促進に結びついている。	
所要時間(間接分)	時間	時間	時間	時間	時間		
所要時間計	16 時間	16 時間	16 時間	16 時間	16 時間		
人件費コスト 単位:千円 (@2,021円×所要時間)	32	32	32	32	32		

III これまでの事業の見直し・改善状況

H19年度から山梨県身体障害者地域活動事業へ障害者社会学級事業を統合した。

IV 活動量と成果の判断(平成23年度の業績評価)

(1) 事業は予定された活動量を上げているか。(「活動指標の達成率」等から、事業の活動量を判断)		
数値判定 H23年度 活動指標 達成率	活動量に係る 一次評価	活動量に係る一次評価の考え方 ※数値判定と一次評価とが異なる場合等に記入すること
b	b	

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上)。 b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満)。 c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)。 d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)。

(2) 事業は意図した成果を上げているか。(「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断)		
数値判定 H23年度 成果指標 達成率	成果に係る 一次評価	成果に係る一次評価の考え方 ※必ず記入すること
	b	スポーツ大会や講習会等、参加者や地域のニーズに応じた事業を開催しており、また参加者は全体で約1,000名近くに上り、参加者からは「仲間ができた」、「また来年も参加したい」等、肯定的な意見も多く、社会参加の促進に結びついており、意図した成果はほぼ上げていると考えられる。

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上)。 b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満)。 c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満)。 d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)。

V 見直しの必要性(平成25年度に向けた改善等の考え方)

一次評価(担当部評価結果)		
見直しの必要性	説明	IV以外の判断項目
有	グランドゴルフ大会の参加者数は、目標値を上回っているが(230人→290人)、文化祭(101人→80人)、スポーツ大会(33人→23人)、講習会(584人→445人)が目標値に達していないため、参加数を増やす必要がある。 特に講習会、文化祭の事業内容については、在宅障害者のニーズの高いものを検討する。	m

・「IV以外の判断項目」の欄

○必要性(a.目的の達成 b.新たな課題への対応 c.対象の変化 d.ニーズの変化 e.法律・制度の改正) ○官or民(f.民間等実施) ○官の役割分担(g.市町村等へ移管) ○効率性(h.外部委託 i.経費節減 j.類似事業と統合・連携 k.所要時間の縮減 l.プロセスの改善) m.その他

二次評価(担当部局再評価結果) ※行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価		
見直しの必要性	説明	IV以外の判断項目

・「IV以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする。

VI 見直しの方向(平成25年度当初予算等での対応状況)

見直しの方向	具体的な実施計画等
実施方法等の変更	(社)県聴覚障害者福祉協会が主催しているスポーツ大会、(社)県視覚障害者福祉協会が主催している文化祭、講習会においては、各協会の会員に対して連絡をしているが、会員数の減及び高齢化により参加数が少なくなっている。 各協会から会員のみでなく、市町村を通して地域からの参加者を募ることにより、参加者の拡大を図る。

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、V見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。なお、見直しがない場合は、「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。